

平成27年3月期 第2四半期決算説明会

I .平成27年3月期 第2四半期決算概要

財務部長
山田 龍彦



東海旅客鉄道株式会社

平成26年10月30日 1

平成27年3月期 第2四半期決算概要(連結)

(億円)

	26年3月期 2Q累計 (4-9月) A	27年3月期 2Q累計 (4-9月) B	増減 (B-A)
営業収益	8,147	8,172	+24
営業費用	5,265	5,383	+117
営業利益	2,881	2,789	△92
営業外損益	△422	△337	+84
経常利益	2,459	2,451	△7
四半期純利益	1,595	1,670	+74

◆長期債務残高 連結:2兆3,739億円(前期末比+ 31億円)

平成27年3月期 第2四半期決算概要 (連結・セグメント別)

		26年3月期 2Q累計 A	27年3月期 2Q累計 B	増減 (B-A)	(億円)
営業収益		8,147	8,172	+24	
	運輸業	6,311	6,440	+128	
	流通業	1,053	1,128	+74	
	不動産業	329	329	+0	
	その他	1,069	961	△107	
営業費用		5,265	5,383	+117	
営業利益		2,881	2,789	△92	
	運輸業	2,729	2,631	△98	
	流通業	38	40	+2	
	不動産業	77	85	+7	
	その他	22	24	+2	

※セグメント別の内訳はセグメント間取引の相殺消去を行う前の数値です。内訳の合計値は営業収益・営業利益と一致しません。

平成27年3月期 第2四半期決算概要(単体)

	26年3月期 2Q累計 A	27年3月期 2Q累計 B	増減 (B-A)	(億円)
営業収益 (運輸収入)	6,317 (6,017)	6,445 (6,137)	+127 (+119)	
営業費用	3,575	3,796	+220	
人件費	871	877	+5	
物件費	1,409	1,513	+104	
動力費	206	228	+21	
修繕費	372	447	+74	
業務費	829	837	+7	
租税公課	163	162	△0	
減価償却費	1,131	1,242	+111	
営業利益	2,742	2,648	△93	
経常利益	2,326	2,313	△12	
四半期純利益	1,532	1,617	+85	

平成27年3月期 第2四半期決算説明会

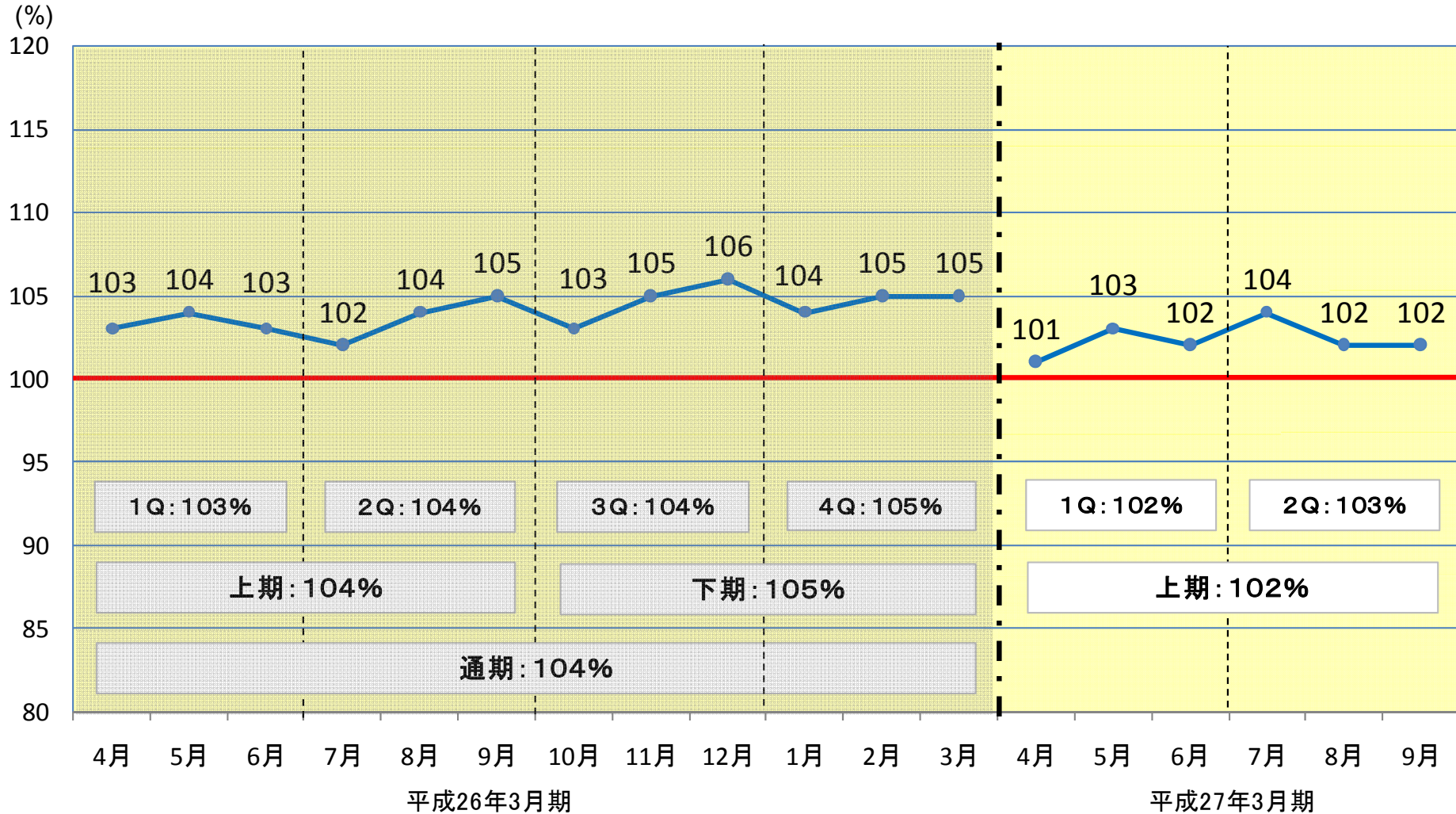
Ⅱ.平成27年3月期業績予想、主な施策展開

取締役 専務執行役員
総合企画本部長
宮澤 勝己



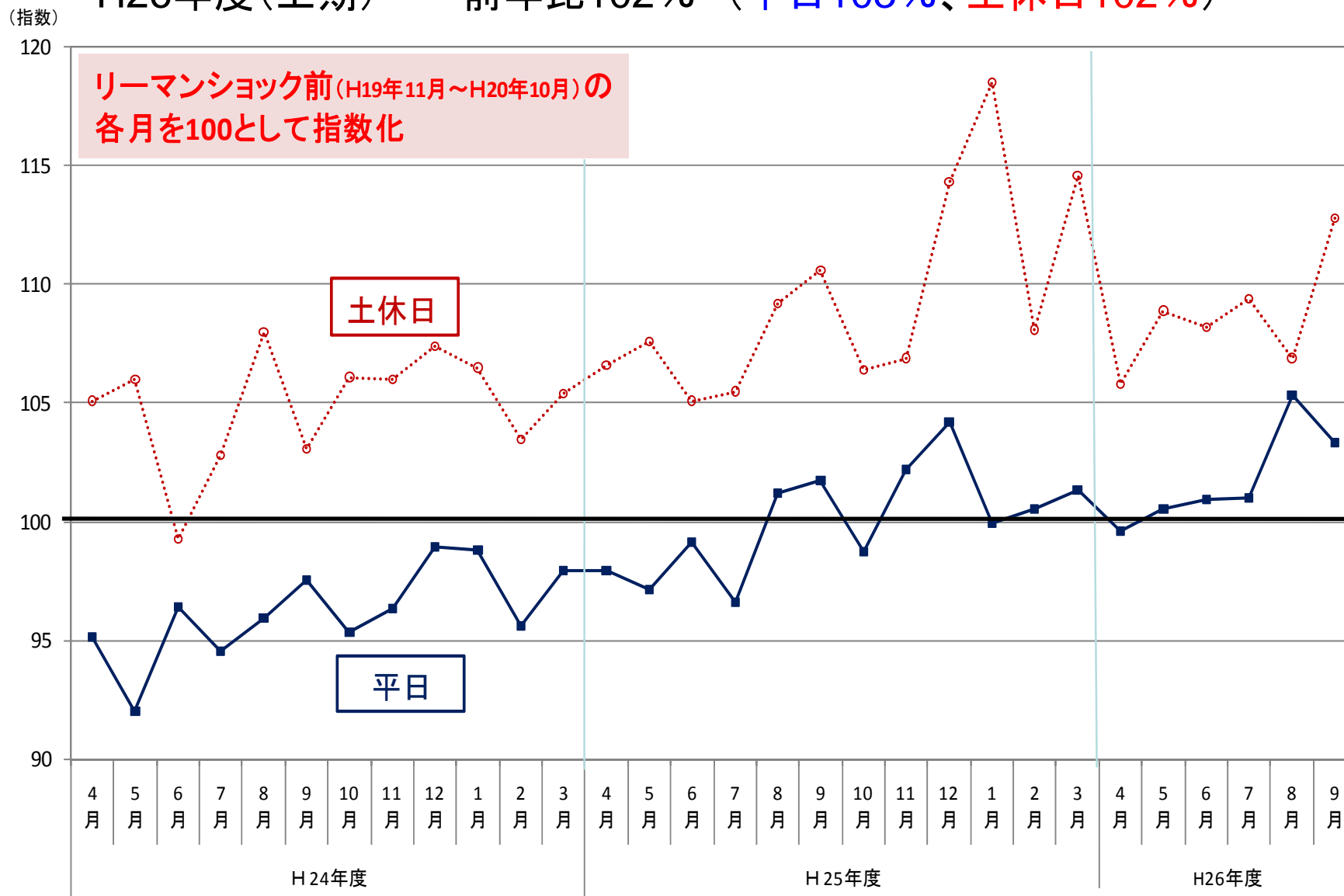
東海道新幹線の輸送状況(東京口) (前年比の推移)

H26年度(上期) 前年比102% (平日103%、土休日102%)



東海道新幹線の輸送状況(東京口) (平土休別／リーマンショック前との比較)

H26年度(上期) 前年比102% (平日103%、土休日102%)



※ 1日あたりの輸送量は、H25年4月以降、H25年度7月を除く全ての月で過去最高

平成27年3月期 通期業績予想の修正(単体)

	27年3月期 前回予想 A	27年3月期 今回予想 B	増減 (B-A)	(億円)
営業収益 (運輸収入)	12,790 (12,148)	12,910 (12,268)	+120 (+119)	
営業費用	8,500	8,460	△40	
人件費	1,770	1,760	△10	
物件費	3,820	3,810	△10	
動力費	470	460	△10	
修繕費	1,460	1,460	—	
業務費	1,890	1,890	—	
租税公課	330	330	—	
減価償却費	2,580	2,560	△20	
営業利益	4,290	4,450	+160	
営業外損益	△700	△780	△80	
経常利益	3,590	3,670	+80	
当期純利益	2,510	2,560	+50	

◆長期債務縮減見込額 単体:1,200億円→2,000億円(前回予想比+800億円)

平成27年3月期 通期業績予想の修正 (連結・セグメント別)

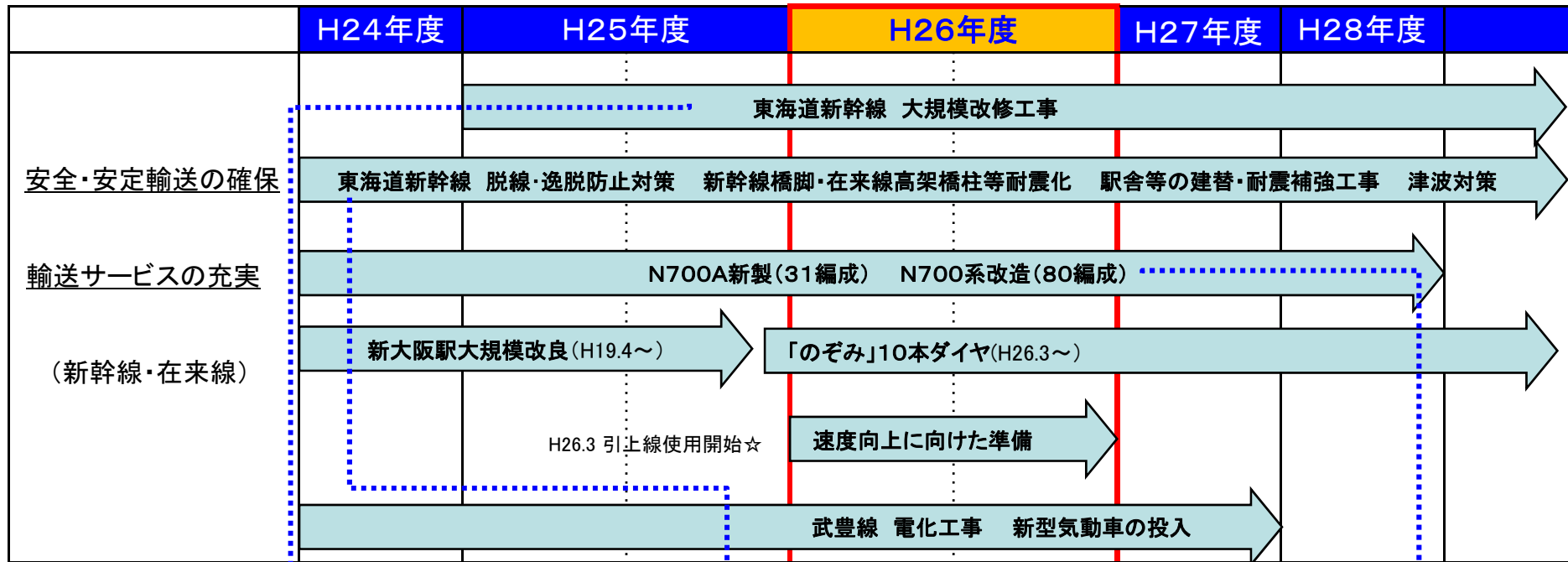
		27年3月期 前回予想 A	27年3月期 今回予想 B	増減 (B-A)	(億円)
営業収益		16,360	16,510	+150	
	運輸業	12,778	12,901	+123	
	流通業	2,233	2,290	+57	
	不動産業	651	656	+5	
	その他	2,347	2,387	+40	
営業費用		11,770	11,760	△10	
営業利益		4,590	4,750	+160	
	運輸業	4,281	4,444	+163	
	流通業	68	77	+9	
	不動産業	135	139	+4	
	その他	87	87	—	
営業外損益		△710	△790	△80	
経常利益		3,880	3,960	+80	
当期純利益		2,650	2,680	+30	

※セグメント別の内訳はセグメント間取引の相殺消去を行う前の数値です。内訳の合計値は営業収益・営業利益と一致しません。

主な施策展開

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
安全・安定輸送の確保			東海道新幹線 大規模改修工事			
		東海道新幹線 脱線・逸脱防止対策	新幹線橋脚・在来線高架橋柱等耐震化	駅舎等の建替・耐震補強工事	津波対策	
輸送サービスの充実		N700A新製(31編成) N700系改造(80編成)				
(新幹線・在来線)		新大阪駅大規模改良(H19.4~)	「のぞみ」10本ダイヤ(H26.3~)			
		H26.3 引上線使用開始☆	速度向上に向けた準備			
			武豊線 電化工事 新型気動車の投入		☆H27春 武豊線電化開業	
営業施策の強化		増収に向けた営業施策の展開(京都・奈良等の観光資源を活かした各種キャンペーン等)				
			(東海道新幹線開業50周年記念旅行商品の発売)			
超電導リニアによる中央新幹線計画		超電導リニアによる中央新幹線計画の推進				
	H25.8 山梨リニア実験線走行試験再開☆	H25.9 準備書の公告☆	☆H26.4 評価書国土交通大臣送付	☆H26.8 最終的な評価書の送付・公告、工事実施計画の認可申請		
			☆H26.10 工事実施計画の認可			
鉄道以外の事業の着実な推進		名古屋駅「JRゲートタワー」計画の推進			H28.11(オフィス入居開始)☆ H29.4(タカシマヤ・ホテル開業)☆	
海外プロジェクトへの取組み		対象路線における事業化に向けたマーケティング活動等				
		H26.4 国際高速鉄道協会(IHRA)設立	☆☆H26.4 台湾高鉄技術コンサルティング受託	☆H26.10 高速鉄道国際会議開催		

主な施策展開



大規模改修工事の例(コンクリート橋)



脱線防止ガード



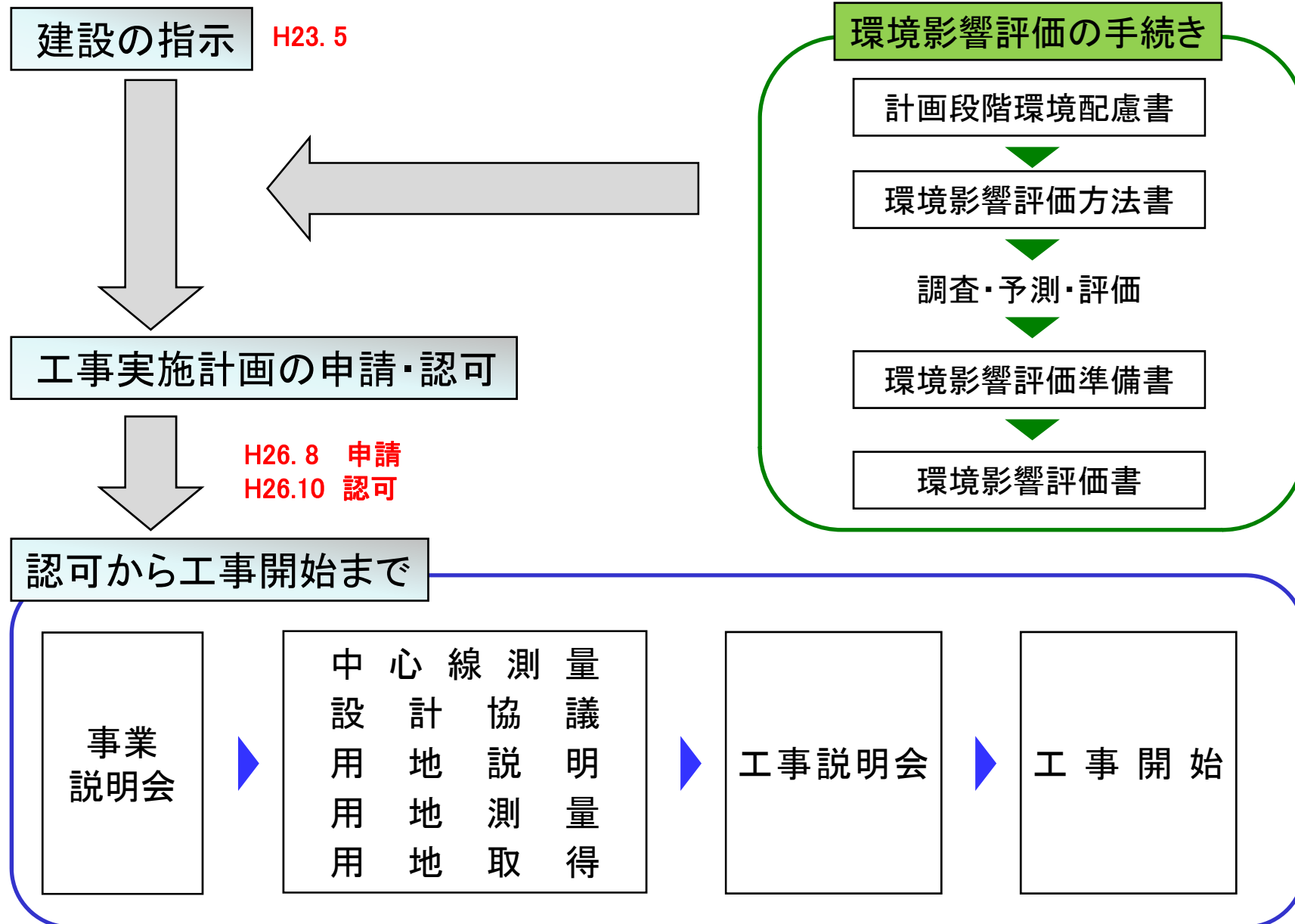
N700系改造

主な施策展開

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
	 <p>東海道新幹線開業50周年記念旅行商品の例</p>		 <p>JRゲートタワー(イメージ)</p>		 <p>東海道新幹線開業50周年 高速鉄道国際会議 ロゴマーク</p>	
営業施策の強化	増収に向けた営業施策の展開(京都・奈良等の観光資源を活かした各種キャンペーン等) (東海道新幹線開業50周年記念旅行商品の発売)					
鉄道以外の事業の 着実な推進	名古屋駅「JRゲートタワー」計画の推進				H28.11(オフィス入居開始)☆ H29.4(タカシマヤ・ホテル開業)☆	
海外プロジェクトへの 取組み	対象路線における事業化に向けたマーケティング活動等					
	H26.4 国際高速鉄道協会(IHRA)設立☆☆		H26.4 台湾高鉄技術コンサルティング受託		☆☆H26.10 高速鉄道国際会議開催	

中央新幹線計画の進捗

◆環境影響評価から工事開始までの流れ



超電導リニア技術のブラッシュアップ及びコストダウン

- ◆超電導リニア技術のブラッシュアップ及びコストダウンに引き続き取り組む。
 - 営業線仕様の車両、設備による12両編成での長距離走行試験を実施（平成26年6月25日～7月19日）
 - 車両や地上設備の営業運転に対応した保守体系の確立に向けた確認試験
- ◆「超電導リニア体験乗車」を11月、12月、来年3月に実施予定。

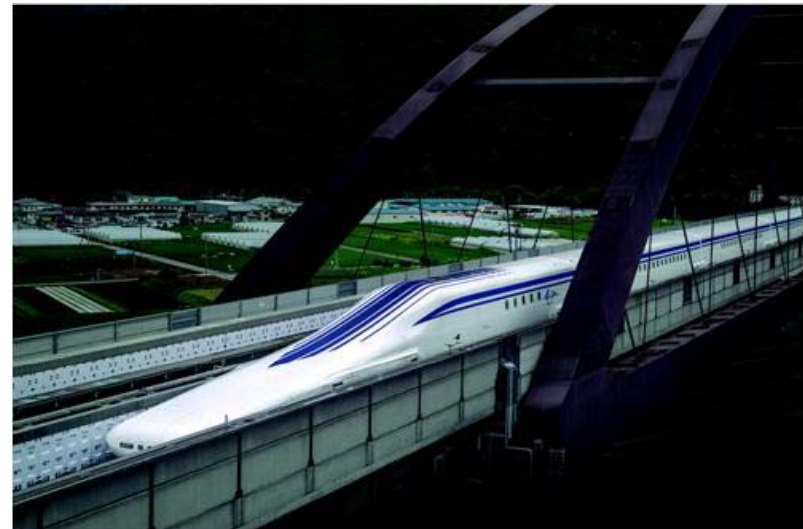


12両編成による長距離走行試験



走行中の車内モニター

平成27年3月期 第2四半期決算説明会



東海旅客鉄道株式会社

平成27年10月30日

本資料に記載されている将来の計画や見込み数値等は、当社が現在入手可能な情報に基づく見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。潜在的なリスクや不確実性の例としては、経済動向や事業環境、消費動向、当社および子会社における他社との競合状況、法律や規制等の変更などが挙げられます。